

第16回 日本末梢神経学会学術集会 プログラム・抄録

特 別 講 演 「Electrodiagnosis of peripheral neuropathies -Application and pitfalls-」
Prof. Jun Kimura Univ. of Iowa

会 長 講 演 「私の末梢神経研究の流れ」
廣瀬源二郎 金沢医科大学

シンポジウム 1 「末梢神経から脊髄レベルでの電気生理学的診断の意義」
2 「免疫介在ニューロパチーの最近の研究進歩」

産業医学講座 「アクリルアミドによる末梢神経障害」
松岡 雅人 東京女子医大衛生学公衆衛生学

教 育 講 演 「人体の迷走神経と交感神経の内臓枝
—心臓に分布する末梢神経の三次元的形態と形成過程の解明—」
田中 重徳 金沢大学脳情報回路学

ランチョンセミナー 1 「難治性 CIDP とその類縁疾患」 有村 公良
2 「糖尿病性神経障害の成因と治療：新しい展開」 安田 斎

イブニングセミナー 1 「糖尿病性末梢神経障害の簡易診断と病期分類の試み」 八木橋操六
2 「高ホモシスチン血症を呈する脳卒中患者の
葉酸 +B12 投与による骨折リスクの抑制」 佐藤 能啓

The XVI Annual Meeting of Japanese Peripheral Nerve Society

会期：2005 年 7 月 22 日(金)、23 日(土)

会場：ホテルイン金沢

〒920-0847 金沢市堀川町 1-10

Tel:076-223-1111 (代) URL:<http://www.hotelinnkanazawa.com/>

学術集会会長 廣瀬源二郎

金沢医科大学脳脊髄神経治療学神経内科

第 16 回 日本末梢神経学会学術集会にあたって

第 16 回学術集会会長 廣瀬 源二郎

この度、第 16 回日本末梢神経学会学術集会を金沢で開催できますことを大変光栄に存じております。金沢の歴史は古く、前田藩の城下町として発展し『文化と食』の街として皆様に愛されてきたことは良くご承知のことと存じます。

本学会は、末梢神経疾患の診断と治療にあたる医師がその専門領域を超えて出席し、種々の問題に対して、神経内科的、整形外科的に、あるいは基礎的神経科学の原理に基づいて考え、論ずるユニークな学会であります。学会への演題を積極的に応募していただき、また学会では色々な分野の異なる考え方、見解をお聞き取りいただき積極的な討論をしていただけるよう 1 会場での学術集会となっております。

学会でお疲れの夜には金沢の文化・食を堪能していただきたく思っております。金沢の周辺には、海に山にと訪れる人の多い場所もございます。学会参加と文化の体験、近在の観光を日程に入れて大勢の先生方が金沢においでになることを心から願っております。

2 日間の学会が皆様により学問的にも文化的にもきわめて有意義な時間となりますことを祈念いたします。

日 程 表

7月22日(金)

ダイヤモンドルーム	
8:40	開会挨拶
8:50	一般演題 I (基礎) 座長: 井上 聖啓
9:40	一般演題 II (GBS, CIDP) 座長: 吉良 潤一
10:30	一般演題 III (遺伝性末梢神経障害) 座長: 阿部 康二
11:20	評議員会
11:30	(クリスタルルーム)
11:50	ランチョンセミナー (日本製薬) 演者: 有村 公良 (エメラルドルーム)
12:50	産業医学講座 「アクリルアミドによる末梢神経障害」 東京女子医大 松岡 雅人
13:00	一般演題 IV (内科的疾患) 座長: 葛原 茂樹
14:20	一般演題 V (治療) 座長: 斉藤 豊和
15:10	休憩
15:20	特別講演 「Electrodiagnosis of peripheral neuropathies」 Jun Kimura
16:20	休憩
16:30	シンポジウム 末梢神経から脊髄レベルでの電気生理学的診断の意義 座長: 辻 貞俊 四宮 謙一
18:30	イブニングセミナー (エーザイ) 「糖尿病性末梢神経障害の簡易診断と病期分類の試み」 八木橋操六 「高ホモシスチン血症を呈する脳卒中患者の 葉酸+B12投与による骨折リスクの抑制」 佐藤 能啓
19:30	懇親会 (エメラルドルーム)

7月23日(土)

ダイヤモンドルーム	
8:40	一般演題 VI (検査1) 座長: 玉置 哲也
9:30	一般演題 VII (検査2) 座長: 道勇 学
10:20	教育講演 「人体の迷走神経と交感神経の内蔵枝」 金大 田中 重徳
11:00	一般演題 VIII (手根管症候群1) 座長: 平澤 泰介
11:50	休憩
12:00	総会
12:20	ランチョンセミナー (ベーリンガー) 「糖尿病性神経障害の成因と治療」 安田 斎 (エメラルドルーム)
13:20	一般演題 IX (手根管症候群2) 座長: 越智 光夫
14:20	休憩
14:30	会長講演 「私の末梢神経研究の流れ」 廣瀬源二郎
15:10	休憩
15:30	シンポジウム 免疫介在ニューロパチーの最近の研究進歩 座長: 山本 悌司 楠 進
17:40	閉会の挨拶

企画プログラム

特別講演

7月22日(金) 15:20～16:20 ダイヤモンドルーム

“Electrodiagnosis of peripheral neuropathies -Application and pitfalls-”

座長: 田代 邦雄 (北海道医療大学)

演者: Prof. Jun Kimura (Univ. of Iowa)

会長講演

7月23日(土) 14:30～15:10 ダイヤモンドルーム

“私の末梢神経研究の流れ”

座長: 平澤 泰介 (日本末梢神経学会理事長)

演者: 廣瀬源二郎 (金沢医科大学)

シンポジウム

7月22日(金) 16:30～18:30 ダイヤモンドルーム

1) 末梢神経から脊髄レベルでの電気生理学的診断の意義

座長: 辻 貞俊教授 (産業医大 神経内科)

四宮 謙一教授 (東京医科歯科大 脊椎脊髄神経外科学)

1) 末梢神経の電気生理: 神経伝導検査の理論と実際

桑原 聡 (千葉大 医学部 神経内科学)

2) 神経根症の電気生理と診断 魚住 武則 (産業医科大 神経内科学)

3) 末梢神経における Rapidly reversible block

谷 俊一 (高知大 医学部 運動機能学)

4) 脊髄モニタリングの進歩と限界

四宮 謙一 (東京医科歯科大 脊椎脊髄神経外科学)

7月23日(土) 15:30～17:40 ダイヤモンドルーム

2) 免疫介在ニューロパチーの最近の研究進歩

座長: 山本 悌司 (福島県立医大 神経内科学)

楠 進 (近畿大学 医学部 神経内科学)

1) CIDP/GBS における T 細胞免疫応答 山村 隆 (国立精神・神経センター)

2) CIDP の病態と治療反応性について

祖父江 元 (名古屋大 医学部 神経内科学)

3) AMAN の動物モデル 結城 伸泰 (獨協医大 神経内科)

4) 抗ガングリオシド抗体研究の新たな展開 楠 進 (近畿大 医学部 神経内科)

産業医学講座

7月22日(金) 13:00～13:30

アクリルアミドによる末梢神経障害

松岡 雅人 (東京女子医大 衛生学公衆衛生学)

司会: 横山 和仁 (三重大 医学部 公衆衛生学)

教育講演

7月23日(土) 10:20～11:00 ダイヤモンドルーム

人体の迷走神経と交感神経の内蔵枝

ー心臓に分布する末梢神経の三次元的形態と形成過程の解明ー

田中 重徳(金沢大学医学部 脳情報回路学)

司会: 池田 和夫(金沢大学医学部 整形外科)

ランチョンセミナー

7月22日(金) 11:50～12:50 エメラルドルーム

難治性 CIDP とその類縁疾患

座長: 祖父江 元(名古屋大学医学部 神経内科学)

演者: 有村 公良(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学)

7月23日(土) 12:20～13:20 エメラルドルーム

糖尿病性神経障害の成因と治療:新しい展開

座長: 松井 真(金沢医科大学 脳脊髄神経治療学神経内科)

演者: 安田 斎(滋賀医科大学 医学部看護学科)

イブニングセミナー

7月22日(金) 18:30～19:30 ダイヤモンドルーム

座長: 大西 晃生(一本松病院)

1) 糖尿病性末梢神経障害の簡易診断と病期分類の試み

八木橋操六(弘前大学医学部病理学第一講座)

2) 高ホモシスチン血症を呈する脳卒中患者の葉酸 +B12 投与による骨折リスクの抑制

佐藤 能啓(見立病院神経内科)

一般演題

7月22日(金)

一般演題Ⅰ 基礎

8:50~9:40 座長 井上 聖啓 東京慈恵会医科大学神経内科

1. 末梢神経細胞・シュワン細胞の培養法を用いた、糖尿病性神経障害の病態解明へのアプローチ
東京都神経研・発生形態 三五 一憲
2. マウス Waller 変性モデルにおける軸索再生に伴うイオンチャンネルの変化
千葉大神経内科 澤井 摂
3. 麻酔下ラット坐骨神経表層の微小循環調節における内因性一酸化窒素とプロスタグランジンの関与について
信州大運動機能学 酒井 典子
4. マウス末梢神経 Waller 変性モデルにおいて Rho kinase 阻害薬は軸索再生を促進する
千葉大神経内科 平賀 陽之
5. 表皮内神経の超微形態
東京慈恵医大神経内科 平井 利明

一般演題Ⅱ GBS、CIDP

9:40~10:30 座長 吉良 潤一 九州大学大学院医学研究院脳神経病研究施設

6. 脳死状態を呈した後、順調に回復した Guillain-Barré 症候群の1例
埼玉医大総合医療センター神経内科 吉田 典史
7. 味覚障害を呈した acute oropharyngeal palsy 型ギラン・バレー症候群の1例
九州大神経内科 真崎 勝久
8. 多彩な脳神経症状で発症した慢性炎症性脱髄性根神経症 (CIDP) と考えられた1例
九州大神経内科 鉦之原敏博
9. Livedoid vasculitis を伴った CIDP の1例
金沢医大神経内科 権藤雄一郎
10. CIDP の特徴を合わせもつ遺伝性ニューロパチー症例
近畿大神経内科 宮本 勝一

一般演題Ⅲ 遺伝性末梢神経障害

10:30~11:20 座長 阿部 康二 岡山大学大学院神経病態内科学

11. 当科での Charcot-Marie-Tooth 病 (CMT) の検討
岡山大神経内科 武久 康
12. 末梢神経障害を伴った SCA1 の一例
金沢医大神経内科 垣内 無一
13. MNGIE の末梢神経障害についての病理学的検討
福島県立医大神経内科 杉浦 嘉泰
14. ジシアロシル基に対する抗体を伴う傍腫瘍性ニューロパチーの神経病理
秋田大第1内科 小林 道雄
15. 食道小細胞癌に合併し、良好な経過をとった paraneoplastic neuropathy の一例
北里大神経内科 荻野美恵子

一般演題Ⅳ 内科的疾患

13:30～14:20 座長 葛原 茂樹 三重大学大学院神経病態内科学

16. 無治療 Basedow 病に複数のビタミン欠乏症を伴った著明な軸索型多発神経炎
奈良県立医大神経内科 杉江 和馬
17. 末梢神経障害との鑑別を要した抗内因子抗体陽性亜急性連合性脊髄変性症の1例
三重大神経内科 古田 智之
18. 著明な体幹帯状絞扼感を呈し可溶性 IL-2 受容体の増加を認めた神経サルコイドーシス
富山県高志リハビリテーション病院神経内科 井上 雄吉
19. 非全身性血管炎性ニューロパチーの2例
兵庫県立姫路循環器病センター神経内科 喜多也寸志
20. 急速に進行し、髄液蛋白高値、馬尾造影陽性を示した筋萎縮性側索硬化症の一例
名古屋大神経内科 曾根 美恵

一般演題Ⅴ 治療

14:20～15:10 座長 齊藤 豊和 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学

21. Crow-Fukase 症候群に対する自己末梢血幹細胞移植を伴う高用量化学療法
千葉大神経内科 桑原 聡
22. γ グロブリン大量療法 (IVIG 療法) により痴呆症状が改善した Churg-Strauss 症候群 (CS) の1例
国立病院機構相模原病院臨床研究センター 釣木澤尚実
23. 大量 γ グロブリン療法が著効したシェーグレン症候群に奏功した一例
名古屋大神経内科 木沢麻由紀
24. 糖尿病患者の手根管部神経伝導障害に対するアルドース還元酵素阻害薬の効果
千葉大神経内科 三澤 園子
25. Charcot-Marie-Tooth 病 1A に対するアスコルビン酸の安全性・有効性に関する臨床試験
京都府立医大神経内科 中川 正法

7月23日(土)

一般演題Ⅵ 検査1

8:40~9:30 座長 玉置 哲也 愛徳医療福祉センター

26. F波、体性感覚誘発電位を用いた頸椎症患者の臨床的検討
 済生会明和病院神経内科 村井 克昌
27. 頸椎神経根磁気刺激による複合筋活動電位(CMAP)の健常人における検討
 東京大神経内科 松本ルミネ
28. 感覚神経活動電位を利用した腰椎椎間部狭窄症の診断における問題点の検討
 和歌山県立医大整形外科 安藤 宗治
29. 球脊髄性筋萎縮症における末梢神経伝導の特徴
 名古屋大神経内科 鈴木 啓介
30. 顔面神経再建術後の電気生理学的評価
 帝京大リハビリテーション科 栢森 良二

一般演題Ⅶ 検査2

9:30~10:20 座長 道勇 学 名古屋大学大学院脳神経病態制御学

31. 運動神経終末のイオンチャネル・軸索特性評価法の開発と臨床応用
 千葉大神経内科 中田 美保
32. ヒト軸索再生に伴う電位依存性持続性Naチャネルの変化
 千葉大神経内科 田村 典子
33. 上腕駆血による上肢感覚と正中神経活動磁界の変化
 広島大整形外科 中西 一義
34. 腓腹神経扇形細裂法(福山法)によるCIDPの検討-脱髄vs軸索変性-
 福島県立医大神経内科 松田 希
35. Crow-Fukase症候群の臨床病理学的特徴
 名古屋大神経内科 小池 春樹

一般演題Ⅷ 手根管症候群1

11:00~11:50 座長 平澤 泰介 明治鍼灸大学附属病院整形外科

36. 手根管症候群手術時の正中神経内圧測定結果から短母指外転筋筋力の回復は予想できるか
 筑波記念病院整形外科 吉田 綾
37. 糖尿病患者における手根管症候群の電気生理学的検討
 明治鍼灸大整形外科 勝見 泰和
38. 手根管症候群の保存療法における知覚神経線維機能の評価
 京都府立医大整形外科 西村 彰代
39. マイクロスコピーコイルを用いた手根管症候群のMRI
 筑波大整形外科 西浦 康正
40. 両側手根管症候群における手術時期の検討
 駿河台日大病院整形外科 豊泉 泰洋

一般演題Ⅸ 手根管症候群2

13:30～14:20 座長 越智 光夫 広島大学大学院病態制御医科学

41. 鏡視下手根管開放術の術後成績

駿河台日大病院整形外科 長尾 聡哉

42. 屈筋回内筋筋膜による絞扼を認めた肘部管症候群

岩手医大整形外科 古町 克郎

43. 手根管症候群を合併したキーンベック病に対し腱球移植術を行なった1例

河北総合病院 石井 宣一

44. 尺骨神経筋層下前方移動術の適応に関する考察

広島大整形外科 杉岡 敏博

45. 端側神経縫合時の二重神経支配の可能性についての検討

順天堂大形成外科 市田 祐之